

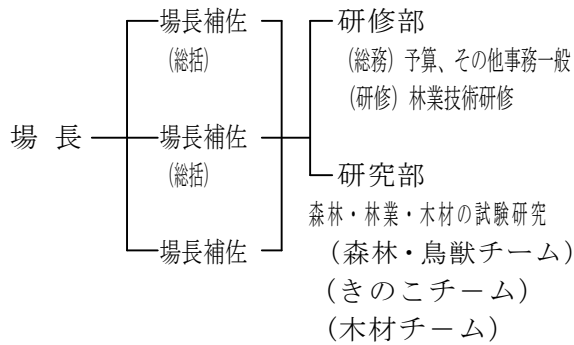
IV その他の場務

1 場務関係

(1) 来場者数 (本場)

種 別	件数	人 数
林業関係等	130	2,610
そ の 他	2	1,150
計	132	3,760

(2) 機 構



(3) 職員数 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

職 種 別	職員数	備 考
場 長	1	
場長補佐(行)(総括)	1	
場長補佐(行)	(1)	兼研修部長
場長補佐(研)(総括)	(1)	兼研究部長
研 修 部 部 員(行)	5	(場長補佐 兼部長 1)
部 員(研)	13	(場長補佐 兼部長 1)
研 究 部		
特用林産事務嘱託員	1	
モニタリング嘱託員	3	
合 計	24	
(行政 6、研究 14、その他 4 名)		

(4) 施 設

① 土 地

種 別	面 積(ha)
苗 畑	0.90
採種園 (アカマツ)	2.00
採種園 (スギミニチュア)	0.12
樹木園	1.18
見本林	0.40
特用樹林	0.80
シイタケほだ場	0.50
建物敷地他	4.06

本 場 計	9.96
実験林	61.53
塩野室育種地	32.29
祖母井採種園	1.19
21 世紀林業創造の森※	23,189.11

場 外 計	23,284.12
合 計	23,294.08

※借受不動産

② 主な建物

種 別	面 積(m ²)
本 館	1,198
研修館	674
実習舎 (2 棟)	431
作業舎 (2 棟)	174
温 室 (2 棟)	193
農具舎 (2 棟)	83
堆肥舎 (2 棟)	96
昆虫飼育室	22
種子乾燥舎	63
薬品保管庫	18
車 庫	103
林業生物工学棟	320
塩野室作業員詰所	45
塩野室宿舎兼事務所	54
研修宿泊棟 (21 世紀林業創造の森)	677
実習棟 (21 世紀林業創造の森)	280
森林交流館 (21 世紀林業創造の森)	349
木材加工試験棟	700
木材性能試験棟	499
傷病鳥獣救護施設 (県民の森)	245
その他	884
合 計	7,108

(5) 平成 27 年度決算額調

① 一般会計歳入

款	項	目	決算額(円)
分担金及び負担金	負担金	農林水産業費負担金	56,826
使用料及び手数料	使用料	農林水産使用料	373,360
諸収入	受託事業収入	スギ花粉発生源地域推定調査受託収入	250,000
		雑入	7,218
		雑入	10
合計			687,414

② 一般会計歳出

款	項	目	決算額(円)
総務費	総務管理費	一般管理費	4,500
		財産管理費	4,563,864
衛生費	環境対策費	環境対策費	4,000
		環境政策費	2,567
農林水産業費	農業費	農村振興費	5,079,829
		林業費	39,372,796
		林業振興費	64,092,527
		森林病害虫防除費	64,281
		造林費	3,313,684
		鳥獣保護費	19,584,482
合計			136,082,530

③ 県営林特別会計歳入
なし

④ 県営林特別会計歳出
なし

2 研究資料整備

受入種別	資料の種類	発行所種別	整備数(点)
購入	単行書		2
	定期刊行物		84
	計		86
寄贈 保管転換	単行書		6
	研究報告 年報 各種統計 雑誌	林野庁・森林管理局・森林管理署	3
		森林総合研究所	29
		都道府県及びその他試験研究機関	98
		公立研究機関・博物館	9
		その他公的機関	10
		森林等関係団体	17
		大学	25
その他	53		
計		250	
合計			336

※資料は書籍のほか、冊子、DVD、CDRを含む

3 啓発指導

(1) 相談業務

林業センターでは、緑化をはじめ森林・林業・木材等に関する相談に応じている。平成27年度における相談件数は272件で、その内訳は次表のとおりであった。

平成27年度相談業務実績

区分	件数	主な相談内容
造林・育苗	15	・苗の入手、育苗方法について ・苗の仮植方法について ・さし木について
緑化	12	・緑化木の増殖法について ・樹種名の同定について ・トチノキの品種について
保護	13	・樹木の病虫害防除について ・松くい虫の防除薬剤について ・材線虫の分離について
特産	76	・野生きのこの同定について ・きのこの栽培について ・きのこ放射能について
林産	156	・スギ、ヒノキの人工乾燥技術について ・耐力壁のせん断試験等接合、構造強度について ・樹種の強度等について ・新製品等開発について
計	272	

(2) 公開デーの開催

当場の業務内容を広く県民にアピールするため、平成27年8月22日（土）に林業センター公開デーを開催した。当日の入場者は1,100名であった。

(3) 試験研究発表会の開催

日頃取り組んでいる試験研究等の内容を、森林・林業・木材関係者等に周知するため、平成28年2月15日に当会場内において第50回森林・林業試験研究発表会を開催した。

- ① 造林部門・・・1 課題
- ② 鳥獣部門・・・2 課題
- ③ 特用林産部門・・・2 課題
- ④ 研修部門・・・1 課題
- ⑤ 木材部門・・・2 課題
- ⑥ 林業経営部門・・・1 課題
- 計 9 課題

(発表内容は次ページのとおり)

(4) 刊行物の刊行等

「林業センターホームページ」については、内容の充実に努めた。

(<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d57/index.html>)

第 50 回森林・林業試験研究発表会発表課題一覧

部 門	発 表 タ イ ト ル	発 表 者
造 林	森林資源循環利用先導モデル事業による皆伐施業の有効性	田村 稔
鳥 獣	仮設期間を設けたくくりわなによるニホンジカの誘引捕獲の試み	高橋 安則
鳥 獣	「受け式囲いわな」によるニホンジカ捕獲の可能性	丸山 哲也
特用林産	栃木県内シイタケ原木林における原木の放射性物質の把握手法	石川 洋一
特用林産	栃木県内シイタケ原木林における原木の放射性セシウム蓄積状況	杉本恵里子
研 修	研修業務報告 ～林業創生新時代へ向けた労働力確保のために～	廣澤 正人
木 材 (木質構造)	木造軸組「耐力壁（壁倍率）」の新開発 ～地域工務店による国土交通大臣認定取得～	亀山 雄搾
木 材 (新開発)	とちぎ材を活用した中大規模木造建築物用構造材の開発 ～大スパンを実現する架構“ストレスキンパ [®] ネ [®] ”“平行弦トラス”等～	亀山 雄搾
林業経営	とちぎ「100年の森林」未来戦略 ～次世代の林業経営の在り方～	大塚 紘平